

Vol.14

The 37th
Business Report
the Second Quarter

第37期 第2四半期株主通信

2009年4月1日から2009年9月30日まで

株主の皆さまへ	①
ダイコク電機最前線 Fade in	③
●「DK-SIS白書2008」発刊	
●名証IRエキスポ2009 証券教育広報センター主催IRセミナー	
新製品情報	④
セグメント別の状況	⑤
連結財務諸表	⑦
会社概要	⑨
株式情報	⑩

株主の皆さまへ

当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出、生産の持ち直しはあるものの、設備投資は減少しており、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、新規出店等の大きな設備投資は依然として低調でしたが、いわゆる1円パチンコ等の低貸玉営業は拡大を続けております。最近では、優良店も低貸玉営業に参入しており、パチンコホールでは、多様な営業形態を模索する動きがますます強くなってきております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、パチンコホールの多様な営業形態において有効な「楽pass」や「BiGMO」の活用提案を推進いたしました。

制御システム事業におきましては、第3四半期に予定しておりました機種の販売が、第2四半期の販売となりました。

アミューズメントコンテンツ事業におきましては、コンシューマゲームでは、受託したゲームを中心に開発を行い、携帯電話ゲームでは、開発内容の見直しにより開発効率の追求を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高294億73百万円(前年同期比45.8%増)、営業利益39億88百万円(同151.9%増)、経常利益41億56百万円(同150.5%増)、四半期純利益22億72百万円(同211.8%増)となりました。

財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ27億30百万円減少の528億16百万円となりました。流動資産では、売上債権の資金化により現金及び預金が増加しましたが、前連結会計年度の第4四半期における売上計上が、



代表取締役社長
栢森 雅勝

当第2四半期連結会計期間より多かったこととともない受取手形及び売掛金が減少した結果、前連結会計年度末に比べ25億23百万円減少の374億7百万円となりました。

固定資産では、主に大きな取得がなかったことにより前連結会計年度末に比べ2億6百万円減少の154億8百万円となりました。

負債では、前連結会計年度の第4四半期における仕入計上が当第2四半期より多かったこととともない支払手形及び買掛金の減少と、借入金の返済があった結果、前連結会計年度末に比べ41億18百万円減少の253億67百万円となりました。

純資産では主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ13億88百万円増加の274億48百万円となりました。

通期の見通し

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年8月5日に公表いたしました通期の業績予想を、平成21年10月22日に次のとおり上方修正いたしました。

(単位:百万円)

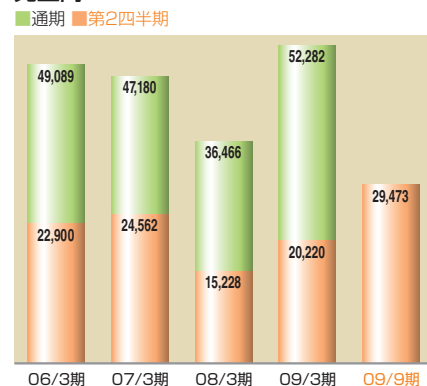
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	46,600	2,600	2,700	1,200	81.17円
今回発表予想(B)	48,600	3,200	3,300	1,400	94.69円
増減額(B-A)	2,000	600	600	200	—
増減率(%)	4.3	23.1	22.2	16.7	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	52,282	4,799	4,991	3,523	238.33円

■通期の見通しに関する注意事項

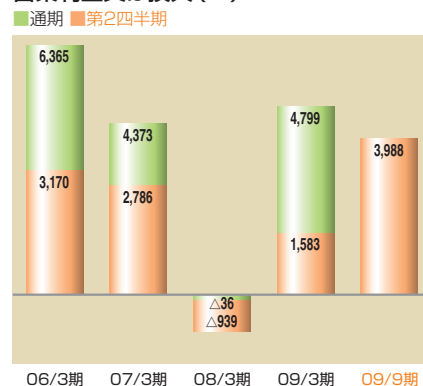
本冊子に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。したがって、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

主要財務データ (単位:百万円) Key Financial Data

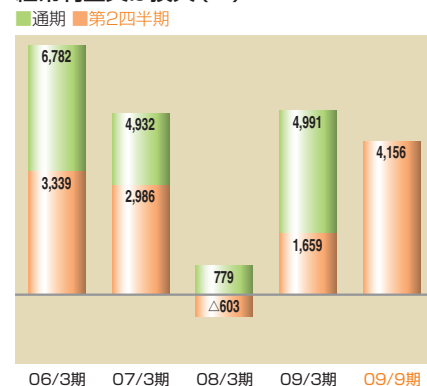
売上高



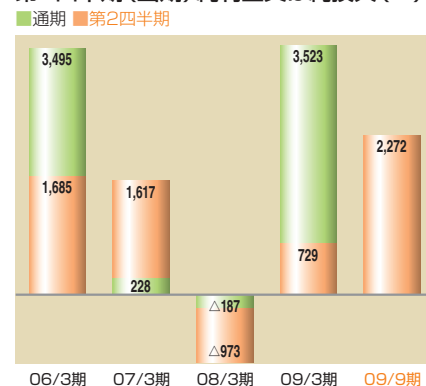
営業利益又は損失(△)



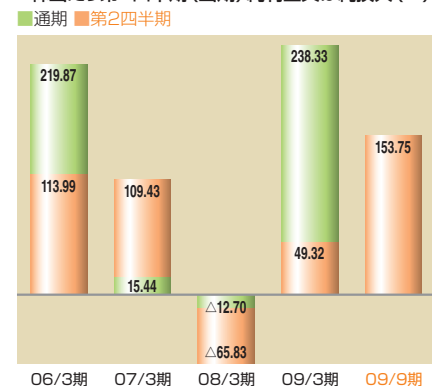
経常利益又は損失(△)



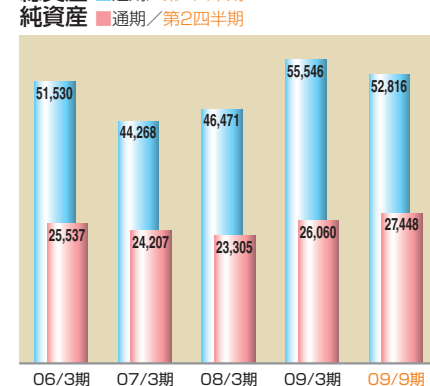
第2四半期(当期)純利益又は純損失(△)



1株当たり第2四半期(当期)純利益又は純損失(△)



総資産 総純資産



Fade in ●ダイコク電機最前線

「DK-SIS白書2008」発刊

このたび当社は「DK-SIS白書2008」を発刊いたしました。本書は創刊の「DK-SIS白書2003」から数えて6刊目となり、創刊時の約2.2倍となる2,893店のDK-SIS加入パチンコホールからいただいた86万台分の遊技データを日々集計・分析し、平成20(2008)年1月から12月まで1年分の膨大な情報をまとめたものです。

本書では、パチンコ業界が世界金融不況に端を発した100年に1度と呼ばれる景気停滞に陥った中でも、マックスタイプと呼ばれる射向性の高い遊技機の躍進や1円パチンコ等低貸玉営業の台頭により、前年を上回る業績となったことで不況に強い業種であることを改めて認識する結果となったこと等を掲載しております。

また、ユーザーが遊びやすい遊技機の重要性が高まっていることや、各遊技機ジャンルにおける機種育成が店舗業績の向上・パチンコ市場拡大には必要であることを今後の方向性として示唆しております。

パチンコホール経営企業の皆さまがこれからもDK-SISを引き続きご活用いただき、本書を企業活動の一助としていただくことを願っております。



本書のご購入を希望される方は、当社HPからお買い求めくださいますようお願いいたします。
定価 ● 20,000円(税込) <http://www.daikoku.co.jp/hakusyo.html>

名証IRエキスポ2009・証券教育広報センター主催IRセミナー

●名証IRエキスポ2009

平成21年7月17日(金)・18日(土)の両日、名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)にて行われた名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2009」にブース出展いたしました。今回で6回目の出展となるこのイベントは今年も盛況で、出展企業は101社、2日間で6,000名もの来場者がありました。

当社ブースでは対面形式と説明会形式での説明を交互に行い、400名を超える皆さまに当社の説明を聞いていただきました。その際行いましたアンケートでは9割以上の皆さまが当社への投資に対して前向きであるという回答をいただきました。貴重なご意見、ご協力ありがとうございました。

●証券教育広報センター主催IRセミナー

平成21年9月2日(水)には証券教育広報センター主催の個人投資家向け企業説明会を名古屋のナディアパーク3階デザインホールにて行いました。説明会には総勢438名の個人投資家の皆さまにご参加いただきました。

社長の栢森雅勝から当社の事業内容やパチンコ業界の現状、当社の四半期決算の状況等をご説明させていただきました。ご来場いただきました株主や投資家の皆さま、誠にありがとうございました。今後も積極的かつ継続的なIR活動により、当社の知名度・認知度の向上に努力してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



その他の主な個人投資家向けIR活動

4/7 名証IRセミナー in 東京(中央区) 9/18 株式投資サマーセミナー2009(名古屋市)

New Product ●新製品情報

DAXELの新規参入パチスロ遊技機、第1号機『剣豪』発売

当社子会社のDAXEL株式会社よりパチスロ遊技機『剣豪』を、全国発売いたしました。

『剣豪』は、ゲームソフトメーカーの元気株式会社がコンシューマゲームとして開発した純和風剣術アクションゲームで、本格的剣術アクション、質実剛健なゲーム性でファンのハートを掴んで離さない『剣豪シリーズ』として展開されています。



■業界初! 8.8型可動液晶搭載!!

業界初となる可動液晶。扉役物と可動液晶演出、二つの演出が絡み合いプレイヤーを刺激してボーナスへの期待感をさらに熱く盛り上げます。

■帰ってこい!

リール挙動に一喜一憂し、想いをめぐらせ興奮したあの熱き時代。本機では、パチスロの命というべき出目へこだわり、奥深いリーチ目の数々を盛り込んでいます。己自身の実力によって勝負できたあの古き良き時代が今ここに蘇ります!

ボーナス、剣豪チャンス、開眼モードの三つが織りなすゲームシステム。プレイヤーに喜びと感動、興奮をもたらします。

剣豪達が己自身の力を信じ、技を磨き極みを目指し、熱くしのぎを削った真剣勝負の世界、『剣豪』をお楽しみください。
(11月の下旬より全国パチンコホールに導入されております。)

●プレス発表風景



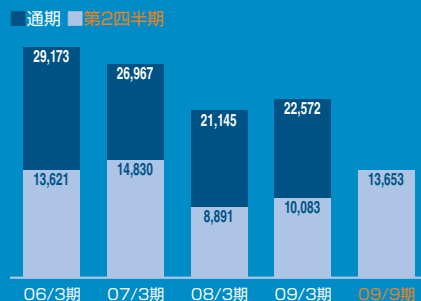
売上比率
46.3%

情報システム事業

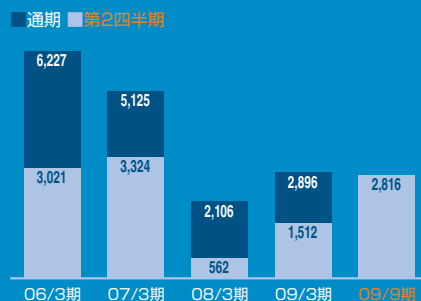
当事業は、4月に開設したMIRAIGATEネットワークを活用したパートナーズセンタの評価が高く好業績につながりました。パートナーズセンタは、迅速かつ確かなメンテナンスに対応するためのメンテナンスデスクと、ホールコンピューティングシステム「C II」を有効活用するための支援窓口となるC IIデスクから成り、ホール支援サービスの強化に努めた結果、C IIシステムの導入店舗が増加しました。また、ファンの利便性向上に役立つ、台毎計数システム「楽pass」や情報公開機器「BiGMO」の提案が受け入れられ、その他周辺機器と共に納入が進みました。

この結果、当事業の売上高は136億53百万円(前年同期比35.4%増)、営業利益は28億16百万円(同86.2%増)となりました。

■ 情報システム事業売上高



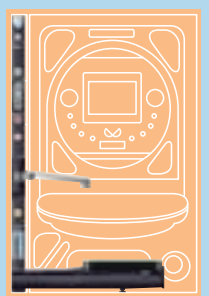
■ 情報システム事業営業利益



台毎計数システム「楽pass」

台毎計数システム「楽pass」は、わかりやすさと、ファンが安心して遊技できることに徹底的にこだわりました。

- リアルタイムに正確な持ち玉数を表示することで、ファンは臨場感を楽しむことができます。
- 操作も非常にシンプル。誰でも簡単に遊技を楽しむことができます。
- 持ち込み玉等の不正もリアルタイムに検知します。



新情報公開端末「BiGMO」

今までの呼出ランプの概念を変える新情報公開端末「BiGMO」。業界最大10.4インチ液晶で、ホール内のイメージを大きく変えるだけでなく、状況に応じてファンが見たいデータを、「どデカ表現」でわかりやすく伝え、遊技しているファンの、ドキドキ感、ワクワク感を盛りたてます。

さらには、業界初AC(遊びコミュニケーション)機能を搭載し、「データニュース」や「パチンコ講座」など多彩な情報をファンに直接語りかけます。



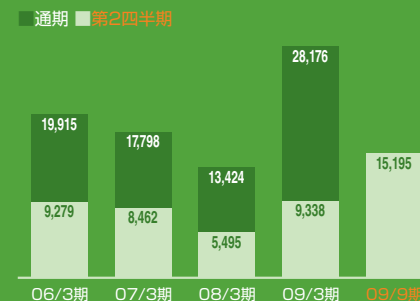
売上比率
51.6%

制御システム事業

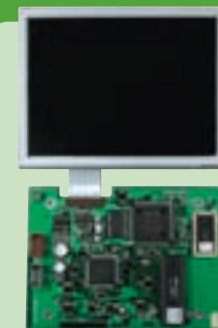
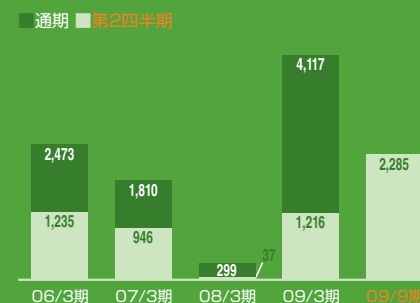
当事業は、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めました。また、第3四半期に予定しておりました機種の販売が第2四半期に早まり、販売が好調であったため、製品販売は119億94百万円(前年同期比100.1%増)、商品販売は31億99百万円(同4.3%減)となりました。

この結果、当事業の売上高は151億95百万円(同62.7%増)、営業利益は22億85百万円(同87.8%増)となりました。

■ 制御システム事業売上高



■ 制御システム事業営業利益



表示ユニット

パチンコ遊技機のゲーム内容を表現する部分で、ハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成されます。



制御ユニット

基本動作をつかさどるハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成され、パチンコ遊技機の心臓部といえます。



商品(部品)

パチンコ遊技機に使用される液晶パネル、スイッチ、モーター等のオートメーションパーツの仕入販売をしております。

売上比率
2.1%

アミューズメントコンテンツ事業

当事業の第2四半期連結累計期間は、海外メーカーから受注したゲームソフトが、北米のゲームショーであるE3の大賞にノミネートされる等、メーカーからの評価が高まり、国内の大手ゲームメーカーからの受注も進みましたが、前年同期の売上には達しませんでした。

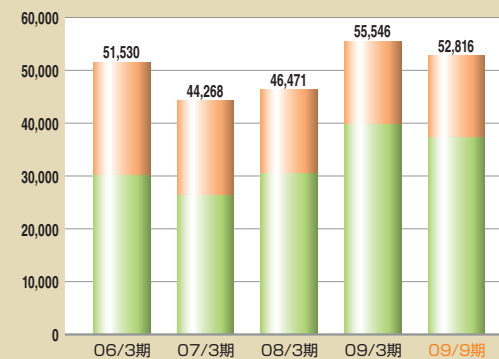
この結果、当事業の売上高は6億33百万円(前年同期比20.7%減)、営業損失は77百万円(同38.8%減)となりました。

第2四半期連結貸借対照表(要旨)

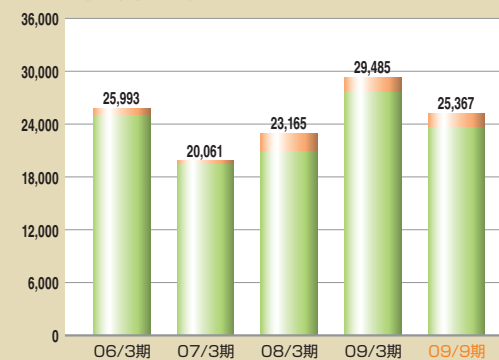
科目	当第2四半期 連結会計期間末 2009年9月30日現在	前第2四半期 連結会計期間末 2008年9月30日現在	前期 2009年3月31日現在
資産の部			
流動資産	37,407	27,294	39,931
固定資産	15,408	16,000	15,614
有形固定資産	6,769	6,980	6,905
無形固定資産	1,221	1,398	1,312
投資その他の資産	7,417	7,621	7,396
繰延資産	0	0	0
資産合計	52,816	43,295	55,546
負債の部			
流動負債	23,871	18,014	27,811
固定負債	1,496	1,861	1,674
負債合計	25,367	19,875	29,485
純資産の部			
株主資本	27,400	23,367	26,014
資本金	674	674	674
資本剰余金	680	680	680
利益剰余金	26,046	22,014	24,660
自己株式	△0	△0	△0
評価・換算差額等	6	6	3
少数株主持分	41	45	41
純資産合計	27,448	23,419	26,060
負債純資産合計	52,816	43,295	55,546

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

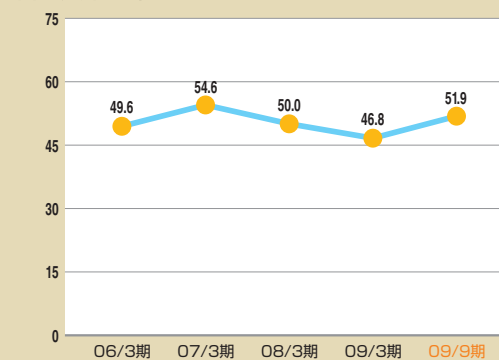
流動資産/固定資産(単位:百万円) 流動資産 固定資産



流動負債/固定負債(単位:百万円) 流動負債 固定負債



自己資本比率(単位:%)



第2四半期連結損益計算書(要旨)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで
売上高	29,473	20,220	52,282
売上原価	20,077	13,260	36,466
売上総利益	9,395	6,960	15,815
延払販売未実現利益控除	—	—	—
延払販売未実現利益戻入	7	23	31
差引売上総利益	9,403	6,983	15,847
販売費及び一般管理費	5,414	5,400	11,047
営業利益	3,988	1,583	4,799
営業外収益	241	153	348
営業外費用	73	78	156
経常利益	4,156	1,659	4,991
特別利益	4	22	24
特別損失	41	49	229
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,118	1,632	4,786
法人税、住民税及び事業税	1,816	1,035	1,233
法人税等調整額	30	△108	57
少数株主損失(△)	△0	△23	△27
四半期(当期)純利益	2,272	729	3,523

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

売上総利益

前年同期に比べ情報システム事業、制御システム事業の売上が好調に推移したことにより売上高は45.8%増となりましたが、原価が増加したことにより売上高総利益率は2.5ポイント減少の31.9%となりました。

営業利益

販売費及び一般管理費は前年同期に比べほぼ同額にて推移したことにより、売上高営業利益率は5.7ポイント上昇の13.5%となりました。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,442	414	3,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	△605	△878	△1,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,405	△1,065	△1,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△6	△10
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	2,431	△1,536	1,310
現金及び現金同等物の期首残高	15,658	14,347	14,347
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	18,090	12,811	15,658

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

営業活動によるキャッシュ・フロー

前年同期に比べ、税金等調整前四半期純利益が増加したことにより資金は増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

前年同期に比べ、定期預金の預入がなかったことにより使用した資金は減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

前年同期に比べ、借入金の返済額及び配当金の支払額が多かったことにより、使用した資金は増加しました。

Corporate Profile

会社概要 (2009年9月30日現在)

商号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.

創業 1964年12月

設立 1973年7月

資本金 6億7千4百万円
(発行済株式総数14,783,900株)

本社 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号
名古屋国際センタービル2階

従業員数 (単独)439名 (連結)674名

事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ・パチスロ遊技機用ユニットの開発・製造・販売

役員

代表取締役社長	栢森雅勝	取締役	根本弘
代表取締役副社長	栢森秀行	取締役	堀田昌郎
代表取締役専務	栢森健	取締役	國保徳丸
常務取締役	岩根節雄	常勤監査役	伊東幹夫
取締役	平原正義	監査役	田中正雄
取締役	山下陽	監査役	敷田稔
取締役	橋本忠巳	監査役	村橋泰志

(注) 1. 取締役 堀田昌郎氏、國保徳丸氏は社外取締役であります。
2. 監査役 田中正雄氏、敷田稔氏、村橋泰志氏は社外監査役であります。

事業所一覧

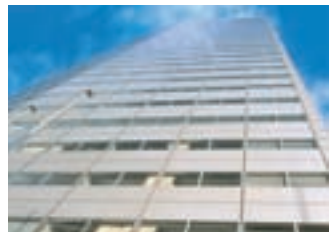
本社	〒450-8640 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル TEL(052)581-7111(代表)	春日井事業所	〒480-0304 春日井市神屋町1番26 TEL(0568)88-7771
本部事業所	〒480-0395 春日井市坂下町1丁目875 TEL(0568)88-7111	TOKYO	〒164-0012 東京都中野区本町一丁目32番2号 デザインスタジオ
高蔵寺事業所	〒487-0014 春日井市気噴町一丁目2番地 TEL(0568)51-7111		

拠点一覧

東日本支店	〒110-0005 東京都台東区上野七丁目2番10号 上野駅前第一生命ビル	中部支店	〒480-0304 春日井市神屋町1番26
・茨城営業所	〒305-0032 つくば市竹園二丁目2番地4 第2-ISSEIビル	・金沢出張所	〒920-0027 金沢市駅西新町3丁目9番26号
・北関東営業所	〒330-6022 さいたま市中央区新都心11番地2 明治安田生命さいたま新都心L.A.タワー	・松本出張所	〒390-0852 松本市大字島立399番地1 滴水ビル
・新潟出張所	〒950-0925 新潟市中央区弁天橋通1丁目2番39号 VMビルディング	西日本支店	〒532-0003 大阪市淀川区宮原四丁目1番14号 住友生命新大阪ビル
・仙台営業所	〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目2番3号 鹿島広業ビル	・岡山営業所	〒700-0927 岡山市北区西古松一丁目1番26号 オム第IIビル
・札幌営業所	〒001-0011 札幌市北区北十一条西四丁目1番地44 ベルエアプラザ	・高松出張所	〒761-8071 高松市伏石町2130番地1 丸忠IIIビル
・盛岡出張所	〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号 マリオス	・広島営業所	〒730-0004 広島市中区東白島町14番15号 NTTクレド白島ビル
		九州支店	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南二丁目1番9号 ヤマエ博多駅南ビル
		・宮崎出張所	〒880-0801 宮崎市老松一丁目3番3号 松屋ビル

関係会社

連結子会社 ●DIXEO株式会社、元気株式会社、元気モバイル株式会社、DAXEL株式会社、DO株式会社
関連会社 ●株式会社ラビス



本社



本部事業所

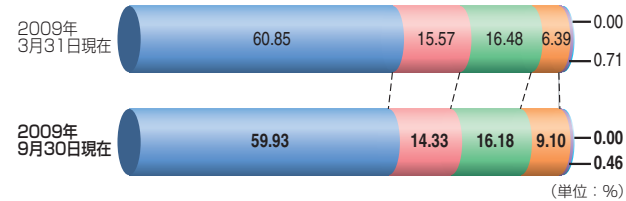
株式情報 (2009年9月30日現在)

株式状況

発行可能株式総数.....66,747,000株
発行済株式総数.....14,783,900株
株主数.....3,466名

所有者別株式分布状況

	2009年9月30日現在		2009年3月31日現在	
	株数	名数	株数	名数
●個人・その他	8,859,786株	3,259名	8,995,874株	3,450名
●金融機関	2,117,800株	28名	2,301,600株	22名
●その他国内法人	2,392,600株	62名	2,436,900株	65名
●外国人	1,345,003株	96名	944,406株	65名
●証券会社	68,515株	20名	104,924株	22名
●自己名義株式	196株	1名	196株	1名
合計	14,783,900株	3,466名	14,783,900株	3,625名



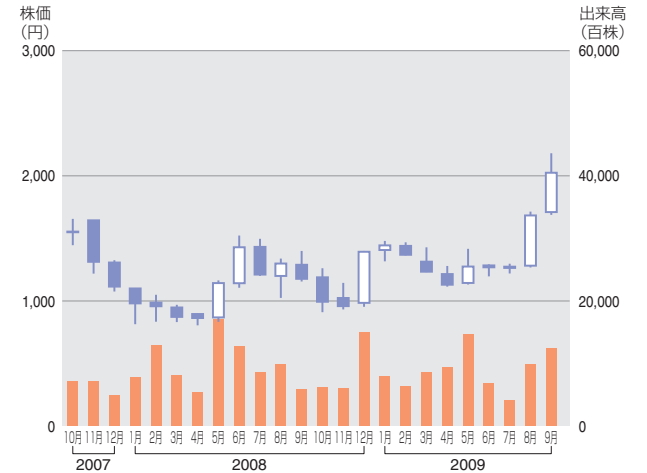
持株数別株式分布状況

	2009年9月30日現在		2009年3月31日現在	
	株数	名数	株数	名数
1単元未満	518株	62名	423株	60名
1単元以上5単元未満	365,206株	2,183名	382,601株	2,294名
5単元以上10単元未満	230,550株	393名	250,932株	426名
10単元以上50単元未満	1,140,790株	667名	1,128,711株	689名
50単元以上100単元未満	370,374株	58名	410,082株	62名
100単元以上500単元未満	1,645,316株	79名	1,442,805株	75名
500単元以上1,000単元未満	459,500株	7名	113,800株	2名
1,000単元以上5,000単元未満	1,296,850株	5名	1,535,650株	5名
5,000単元以上	9,274,600株	11名	9,518,700株	11名
自己名義株式	196株	1名	196株	1名
合計	14,783,900株	3,466名	14,783,900株	3,625名

大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
栢森 雅勝	1,889,150	12.77
栢森 健	1,772,200	11.98
栢森 寿恵	1,108,950	7.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	767,700	5.19
財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢森 秀行	739,100	4.99
栢森 新治	737,150	4.98
栢森 啓	712,500	4.81
栢森 美智子	626,000	4.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	550,200	3.72
メロンバンク トリーティー クライアツツ オムコバス	343,100	2.32
ダイコク電機従業員持株会	325,000	2.19
株式会社みずほ銀行	150,000	1.01
ステート ストリート バンク アンド トラスト カルビー 505224	108,900	0.73
アールピーシー テリア インバスター サービス トラスト(信託口) リンテック アカハ	90,000	0.60
ノーザン トラスト カルビー エイブイエフー リ フィテリティ ファーズ	88,400	0.59
第一生命保険相互会社特別勘定年金口	59,900	0.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	57,600	0.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3)	56,700	0.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	56,300	0.38

株価及び出来高の推移



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の 全国各支店ならびに日本証券代行株式 会社の本店及び全国各支店で行って おります。
公告方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない 事由によって電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
公告のホームページアドレス	http://www.daikoku.co.jp/

✉ IR情報メール配信サービス

当社は、投資家の皆さまに対して電子メールによるIR情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた方々に当社ホームページ(<http://www.daikoku.co.jp>)に新しい情報が掲載されたことをお知らせします。

ご希望の株主さまは、当社ホームページにアクセスした後、「IRメール配信ご登録」ボタン、又はディア・ネットサービスホームページ(<http://www.dirnet.jp/6430>)から、簡単にご登録(無料)いただけます。



〒450-8640 名古屋市市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル2階

TEL(052)581-7111(代表)

ホームページ <http://www.daikoku.co.jp>

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主さまあてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

配当金領収証にてお受取りの株主さまは年末又は翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主さまは配当金支払いの際送付している「配当計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

株主さまのご住所・お名前に関する文字についてのご案内

株券電子化実施にとまない、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株券電子化後の配当金受取方法のお取扱い

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主さまの保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問い合わせください。

